



久慈農業改良普及センターだより

普及センター情報 263 号
令和 4 年 1 月 21 日発行
久慈農業改良普及センター
経営指導課：0194-53-4989
産地育成課：0194-66-9683
地域指導課：0194-66-9684
FAX：0194-53-5009

～ 掲 載 内 容 ～

ページ

1. 久慈地域の情報

○新たに1名の青年農業士が誕生！・・・1

青年農業士として北村学さん（久慈市）が認定されました。

○令和3年産水稻の生育状況まとめ&令和4年産 水 稲の育苗の注意点・・・2

令和3年産水稻の生育診断圃の結果を振り返るとともに、令和4年産水稻の育苗のポイントをお伝えします。

○普及現地情報・・・3

- ・地元の食文化を学びましょう！～食の匠の郷土料理伝承会～
- ・（農）宇部川ファームが令和3年度土地改良事業地区営農推進功労者表彰東北農政局長賞を受賞しました！
- ・2年ぶりに開催！～ほうれんそう産地拡大セミナーを開催しました～
- ・どこでも久慈地域の農業が見られる！？～オンライン農業現場見学会を開催～

2. お知らせ

○登録品種及び出願中品種に係る自家用栽培向け増殖の許諾について・・・7

登録品種の自家用栽培向け増殖には、許可が必要なものがありますので、確認してください。県育成と農研機構育成の登録品種について掲載しました。

次回のあぐりあす発行は来年度4月を予定しております。

新たに1名の青年農業士が誕生！

きたむら

まなぶ

北村 学さん（久慈市）



【経営内容】施設野菜（32a）

【経歴および実績】

農業大学校や地元篤農家の下での研修を経て、平成26年に就農し、雨よけほうれんそうを主体とした野菜経営を行っています。生産性を高めるための土づくりや排水対策に加え、県版 GAP に対応した生産管理により、働きやすい労働環境の整備にも取り組んでいます。

組織活動では、久慈地方農村青年クラブ連絡協議会事務局長のほかに、JA 新いわて久慈地域野菜部会侍浜支部副支部長を務めるなど、意欲的に企画運営を行っており、将来の久慈地域のほうれんそう産地を牽引するリーディングサポーター候補者としても期待されています。

【将来への意向】

これからも継続して、土づくりや排水対策をしていきたい。また、単収の向上や生産性を高めるために工夫していきたい。

※岩手県農業農村指導士とは

地域のリーダーとして指導活動ができる識見と能力を有する年長の農業者や、積極的に農業や集団活動に取り組む青年農業者等、地域の農業・農村の振興に意欲的に取り組む優れた農業者として県が認定した方。

岩手県農業農村指導士は、年齢等の認定要件によって「農業農村指導士」と「青年農業士」に区分される。

・農業農村指導士：39歳以上で65歳までに概ね10年以上認定要件に掲げた活動ができる者。

・青年農業士：39歳までに概ね5年以上認定要件に掲げた活動ができる者。

令和 3 年産水稻の生育状況まとめ & 令和 4 年産水稻の育苗の注意点

令和 3 年産水稻の作柄

苗の生育は、適切な温度・水管理や種子消毒の徹底により病害の発生もなく、良好な生育でした。
良質な苗を久慈管内の適期である5月下旬（本年は5月23日頃）に移植でき（表1）、天候にも恵まれたことから活着は良好でした。

6月は雑草防除と浅水管理を行い、好天を活かす栽培管理ができたことから初期生育が確保され、6月下旬には中干しを実施できました。平年より早く7月末から出穂を始め、登熟期間を十分に確保できる8月上旬までに収穫を終えることができました（表1）。

8月中旬には極端な低温に見舞われ、登熟が停滞した時期もありましたが、8月下旬から天候も回復したことから登熟は順調に進みました。平年より早い成熟期を迎えましたが、中干しの実施と収穫後30日程度の時期の落水処理により、田面を固めることができたことから早い成熟期に見合う刈取りができました（表1）。

天候の変動が大きい年でしたが、適期移植により初期生育を確保し、十分な登熟期間を見込める8月上旬に収穫させる栽培管理ができたことから、管内の収量はおおむね平年並みとなり、品質も一等米比率91.7%と良好でした（表2）。

表1 久慈管内の水稻の移植盛期、出穂盛期及び刈取盛期

市町村名	移植盛期	出穂盛期	刈取盛期
久慈市	5/23 (1)	8/2 (-5)	9/30 (-7)
洋野町	5/23 (1)	8/2 (-5)	9/30 (-8)
野田村	5/23 (-1)	8/5 (-4)	9/30 (-7)
普代村	5/17 (-2)	7/30 (-7)	9/26 (-3)

※ () 内は平年との差。平年値は H23～R2 の 10 年間の平均値であり、マイナス表記は平年より早いことを示す。
※盛期とは、作付面積の 50% に達した日のことを意味している。

表2 管内の市町村別収量（令和 3 年産水稻市町村別統計（東北各県）参照）

市町村名	作付面積 (ha)	単収 (kg/10a)	
		本年	平年比
久慈市	262	486	99%
洋野町	201	472	98%
野田村	45	458	98%
普代村	4	445	97%

※平年値は H23～R2 の直近 10 年間の平均値

令和 4 年産水稻栽培のポイント ～育苗等の注意点～

○水稻栽培は、適期移植により初期生育を確保し、十分な登熟期間を見込める8月上旬に収穫させる栽培管理が理想です。そのスタートに当たる良質な苗の生産は重要です。

○種子消毒及び育苗時の適切な温度・水管理を徹底して、病害の発生を防ぎましょう。近年、育苗中の高温管理により、細菌病が発生する事例が見受けられますので、高温時は被覆しているシートをはがしたり、ハウスを開放したりするなど気温に応じた管理を心掛けましょう。

地元の食文化を学びましょう！～食の匠の郷土料理伝承会～

久慈地域の食文化に親しんでもらうため、久慈地方農業農村活性化推進協議会では 11 月 29 日に「郷土料理伝承会」を開催し、洋野町と久慈市からの参加者 10 名が地元の食文化を学びました。

会場は洋野町大野農村環境改善センターで、地元で「岩手県食の匠」に認定されている東大野清子さんに「けえの汁」を、よつば乳製品加工グループの下舘つな子さんに「手づくりアイスクリーム」を教わりました。

「けえの汁」は、旧暦の 11 月 24 日の大師講（大師様のお年とり）に小豆かゆ（大師講粥）とともにお供えして食べられてきた伝統料理で、7 種類の地元野菜や山菜などを細かく刻み地味噌で煮込んだ汁物です。また、「手づくりアイスクリーム」は、酪農を営むよつば乳製品加工グループの皆さんが、身近な牛乳を使用して作った特産加工品です。

参加者からは、「家でもけえの汁を作っているが、具材の切り方や味が少し違う。今日教わったものも美味しかった」「アイスクリームの作り方を初めて学んだ。家でも作ってみたい」といった声があり、今回の伝承会に参加したことで地元の食文化を大切にしようとする想いが一層深まったようです。



東大野さんを囲んで「けえの汁」の作り方を学ぶ。

普及現地情報
令和3年12月24日
久慈農業改良普及センター
記述者 佐々木美苗

（農）宇部川ファームが令和3年度土地改良事業地区営農 推進功労者表彰 東北農政局長賞を受賞しました！

表彰式が東北農政局で12月15日に開催され、管内生産者の（農）宇部川ファームが表彰されました。

当法人は、東日本大震災後に実施された圃場整備事業を契機に設立され、水稻の湛水直播栽培による省力化や、粳米サイレージの供給による久慈地域短角牛農家の経営安定化への取り組み、高収益作物ミニトマトの栽培の導入による雇用の創出等、地域の活性化への貢献が評価され、受賞につながりました。

表彰式後には、東北農政局長などと意見交換会を行い、農村集落の維持に向けた後継者の育成や、農福連携の取組の加速化、女性活躍の取組の推進について活発な議論がなされました。

鹿糠沢代表理事は、若者が農業にかかわる機会を作りながら、後継者育成を進めていき、園芸品目の栽培やワラ収集など、少しでも収益アップにつながるよう取り組んでいきたいと法人の将来展望について意気込みを語りました。



表彰された農事組合法人宇部川ファーム

普及現地情報
令和4年1月4日
久慈農業改良普及センター
記述者 及川 優介

2年ぶりに開催！ ～ほうれんそう産地拡大セミナーを開催しました～

久慈地方のほうれんそう産地としての産地力強化を目的に、生産者ら約50名が参加し、令和3年12月17日にほうれんそう産地拡大セミナーを開催しました。

講演では、一関市の有限会社かさい農産代表取締役会長である葛西信昭氏から誰もが働きやすい環境づくりにより規模拡大を進めてきたこと、単収や労働時間等のデータをもとに次の栽培に活かしていることなど丁寧に紹介していただきました。

講演後には、普及センターから、低圧ミストを活用した栽培の実証報告、コテツベイトによるコナダニ防除試験の報告、高単収農家の技術的ポイントを報告しました。参加した生産者からは、コナダニ対策に効果のあったコテツベイトをぜひ使ってみたい、単収向上ポイントである播種前かん水について60mm以上という指標があって良かった、などの感想が挙がりました。

本セミナーの開催は、生産者一同が2年ぶりに集まれた久しぶりの機会となりました。このセミナーを契機に、今後、生産者同士の活発な交流が期待されます。



葛西氏による講演の様子。持続可能な農業に取り組み、地域の農業を次世代につなぐことを意識していると力説されました。

普及現地情報
令和4年1月13日
久慈農業改良普及センター
記述者 菊地 雄大

どこでも久慈地域の農業が見られる！？ ～オンライン農業現場見学会を開催～

「リアルな農業現場」から映像中継を通じて久慈地域農業への理解を深めてもらうため、農業大学校生や就農志向者を対象するオンライン農業現場見学会を12月に開催し、遠隔地に居ながら現地の状況が分かる取組として好評でした。

当日は、普代村の若手生産者である中村駿人氏の寒じめほうれんそうの圃場からの中継をZoomで参加者のパソコンやスマホにつなぎ、中村氏から農業のやりがいや久慈地域で農業を行うことの魅力等を語っていただきました。

寒じめほうれんそうの栽培を見たことのない農大生からは、「レギュラーほうれんそうとの施肥の違いはあるか」といった技術的な質問の他、「農業者の生の声を聞くことができて勉強になった」といった感想がありました。

このオンラインの活用を契機に、遠隔地の就農志向者へも支援活動の幅を広げていきます。



寒じめほうれんそうの圃場での中継について
念入りに打合せ中。

岩手県が育成者権を有する登録品種の取扱いについて

ページ番号 1047332 更新日 令和 3 年 12 月 22 日

1 背景

種苗法の一部を改正する法律（令和 2 年 12 月 9 日公布）の施行により、登録品種を育成者権者の意思に応じて海外流出の防止等の措置ができるようになったほか、**令和 4 年 4 月 1 日以降は農業者が登録品種の収穫物の一部を次期収穫物の生産のために当該登録品種の種苗として用いる自家増殖に育成者権者の許諾が必要となります。**

このため、岩手県が育成者権を有する登録品種の取扱いについて、下記のとおり定めましたのでお知らせします。

2 岩手県の方針

(1) 海外への持ち出し制限について

岩手県が育成した登録品種は、海外流出を防ぐ観点から種苗を輸出する行為及び最終消費以外の目的をもって収穫物を輸出する行為を制限しています。品種毎の制限については、農林水産省品種登録ホームページにてご確認ください。

(2) 自家増殖の許諾について

令和 4 年 4 月 1 日以降、一部品種を除き、岩手県内に住所を有する農業を営む個人又は岩手県内に事務所若しくは事業所を有する農地法（昭和二十七年法律第二百二十九号）第二条第三項に規定する農地所有適格法人に限り、自家増殖^注を許諾します。

また、許諾手続きは不要で、実施料（許諾料）も徴収しません。

なお、自家増殖を行った時点で、下記の遵守事項に同意したものとみなします。

注 自家増殖

本県では、農業を営む個人又は農地法（昭和二十七年法律第二百二十九号）第二条第三項に規定する農地所有適格法人が、最初に育成者権者、専用利用権者又は通常利用権者により譲渡された登録品種、登録品種と特性により明確に区別されない品種及び登録品種に係る種苗法第二十条第二項各号に掲げる品種の種苗を用いて収穫物を得、その収穫物を自己の農業経営において更に種苗として用いることをいいます。

(3) 遵守事項

1. 当該登録品種の種苗を用いて得た収穫物を種苗として有償・無償に関わらず第三者に譲渡しないこと。
2. 当該登録品種の種苗を海外に持ち出さないこと。
3. 収穫物を種苗として用いる際は、当該登録品種の特性を著しく損なうことのないよう、適切な種苗を選別し利用すること。

4. 本許諾に基づき増殖した種苗のうち自己の農業経営において種苗として用いなかった種苗は、遅滞なく廃棄又は食用とすること。
5. 本許諾に関連する書類やほ場について、必要に応じて県が調査することを認め協力すること。
6. その他本許諾に関連する事項について、県の指示に従うこと。

本許諾の遵守事項について重大な違反があった場合、県は本許諾を過去に遡って解除することができることとします。なお、本許諾を解除したことにより損害が生じたとしても、一切の損害賠償義務を負わないものとします。

表 登録品種の自家増殖の取扱い一覧（令和 3 年 12 月 21 日現在）

品目	品種名	登録年月日	県内の農業生産者 ^{注1}		県外の農業生産者 ^{注2}		備考
			自家増殖 の可否 ^{注3}	許諾手続き	自家増殖 の可否 ^{注3}	許諾手続き	
水稲	吟ぎんが	2002 年 9 月 4 日	可	不要	不可	-	
	ぎんおとめ	2003 年 2 月 20 日	可	不要	不可	-	
	いわてっこ	2004 年 8 月 18 日	可	不要	不可	-	
	もち美人	2005 年 9 月 13 日	可	不要	不可	-	
	どんぴしゃり	2008 年 3 月 17 日	可	不要	不可	-	
	つぶゆたか	2011 年 3 月 18 日	可	不要	不可	-	
	結の香	2014 年 6 月 30 日	可	不要	不可	-	
	きらほ	2015 年 11 月 19 日	可	不要	不可	-	
	銀河のしずく	2018 年 3 月 20 日	不可	-	不可	-	
	金色の風	2019 年 12 月 9 日	不可	-	不可	-	
	たわわっこ	出願中					協議中 注 4
ひえ	ねばりっこ 2 号	2012 年 3 月 9 日	可	不要	不可	-	
あわ	ゆいこがね	2016 年 6 月 10 日	可	不要	不可	-	
きび	ひめこがね	2018 年 8 月 13 日	可	不要	不可	-	
りんご	岩手 7 号	2009 年 9 月 10 日	可	不要	不可	-	
	大夢	2013 年 3 月 6 日	可	不要	不可	-	
	雪いわて	2018 年 5 月 16 日	可	不要	不可	-	
ぶどう	エーデルロツソ	2013 年 3 月 25 日	可	不要	不可	-	

品目	品種名	登録年月日	県内の農業生産者 ^{注1}		県外の農業生産者 ^{注2}		備考
			自家増殖 の可否 ^{注3}	許諾手続き	自家増殖 の可否 ^{注3}	許諾手続き	
りん どう	キュースト	2008年3月17日	不可	-	不可	-	
	マジエル	2008年3月17日	不可	-	不可	-	
	いわて VEB6 号	2010年1月14日	不可	-	不可	-	
	ももずきんちゃん	2011年1月25日	可	不要	不可	-	
	いわて夢みのり	2014年1月23日	不可	-	不可	-	
	いわて夢みつぎ	2015年6月9日	不可	-	不可	-	
	いわて LB-3 号	2017年3月1日	不可	-	不可	-	
	いわて LB-4 号	2017年3月1日	不可	-	不可	-	
	いわて VEB-7 号	2018年1月24日	不可	-	不可	-	
	いわて EB-1 号	2018年1月24日	不可	-	不可	-	
	いわて EB-2 号	2019年1月23日	不可	-	不可	-	
	いわて MB-2 号	2019年1月23日	不可	-	不可	-	
	Bzc-1	出願中	可	不要	不可	-	
	いわて DfG PB-1 号	出願中	可	不要	不可	-	
いち ご	そよかの	出願中					協議中 注4
	夏のしずく	出願中					協議中 注4

注1 岩手県内に住所を有する農業を営む個人又は岩手県内に事務所若しくは事業所を有する農地法（昭和二十七年法律第二百二十九号）第二条第三項に規定する農地所有適格法人

注2 岩手県外に住所を有する農業を営む個人又は岩手県外にのみ事務所若しくは事業所を有する農地法（昭和二十七年法律第二百二十九号）第二条第三項に規定する農地所有適格法人

注3 可：自家増殖を許諾する、不可：自家増殖を許諾しない

注4 現在共同出願者と協議中のため、取扱いが決まり次第お知らせします。

種苗法改正により、令和4年4月1日から 農研機構登録品種の増殖(*) には許諾が必要です

農研機構の下記URLで「増殖(自家用の栽培向け増殖)」
(*)の許諾を行います。許諾手続きや遵守事項をご確認の
上、必要に応じて申請手続きをお願いします。

(WEB申請のURLは、令和4年2月に開設予定です。)

(*)「自家用の栽培向け増殖」とは、登録品種の収穫物の一部を自分の種苗として使うこと
(改正前の種苗法で自家増殖とされている行為)に加え、登録品種の種芋や親株、苗木から
採ったツル苗や穂木等を種苗として利用すること(従前から許諾が必要な行為)を含みます

対象品目	主な品種	許諾方法等
・ぶどう ・カンキツ ・栗 ・ニホンナシ 等	シャインマスカット、クイーンニーナ はるみ、せとか、津之輝、はれひめ ぼろたん、美玖里 あきづき、甘太、秋麗	・ Webで申請（有償） ・ 農研機構から送付する証紙を園地に掲示 ・ 遵守事項を遵守
・カンショ ・イチゴ ・パレイショ ・茶	ベにはるか、クイックスイート おいCベリー、恋みのり こがね丸、インカのひとみ せいめい、さえあかり	・ Webで申請（無償） ・ 遵守事項を遵守
・稲 ・コムギ ・オオムギ ・ダイズ ・サトウキビ 等	あきだわら、とよめき、きぬむすめ ネバリゴシ、ミナミノカオリ はるか二条、キラリモチ 里のほほえみ、シュウリュウ N i 2 3、N i 2 2	・ 農研機構ホームページで遵守事項を確認 ・ 遵守事項を遵守

★農研機構登録品種は、下記のURLから確認することが出来ます。
権利期間が満了している品種等は、許諾を得る必要はありません。

<許諾手続きや遵守事項の確認、お問い合わせはこちら>

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
知的財産部 育成者権管理課

<https://www.naro.go.jp/collab/breed/permission/index.html>



～いわてアグリベンチャーネット掲載記事の紹介～

いわてアグリベンチャーネットでは、毎月、各地域の農業情報をお知らせしています。

【12 月分の掲載記事】

○産地紹介：《奥州》100 周年を迎えた江刺金札米～これからの 100 年に向けて～

○人物紹介：《大船渡》人物紹介「農業で地域を元気に 大槌町 阿部大敬 さん」

○『普及活動年報』 県内各地域の普及センターの取組を紹介します。

下記の URL、または右の QR コードからご覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/index.html>



久慈農業改良普及センターfacebook 公開中！

久慈寒次郎が、最新の情報や、HOT な情報をお届けします。

下記の URL、または右の QR コードからご覧ください。

<https://www.facebook.com/岩手県久慈農業改良普及センター-581601925540151/>

